

松本達郎教授の業績

種子田, 定勝
九州大学理学部

勘米良, 亀齡
九州大学理学部

<https://doi.org/10.15017/4495946>

出版情報：九州大学理学部研究報告. 地質学. 12 (3), pp.123-138, 1977-02-28. 九州大学理学部
バージョン：
権利関係：



J. Matsumoto

松本達郎教授の業績

種子田 定勝・勘米良 龜 齡

Academic records of Professor Tatsuro MATSUMOTO

Sadakatu TANEDA and Kametoshi KANMERA

Abstract

Academic career and scientific work of Professor Tatsuro MATSUMOTO are concisely described on the occasion of his retirement on April 1st, 1977 from Kyushu University.

Prof. MATSUMOTO's scientific work has been extended to various fields of geological sciences, as seen in the accompanying list of his papers. However, the most outstanding contributions among others are (1) the systematic descriptions of the Cretaceous ammonites from Japan and relevant areas, (2) the biostratigraphical study of the Cretaceous System, and (3) the study of the Upper Cretaceous ammonites of California. The results of (1) have been published in a series of about 50 papers attaining totally more than 1,000 pages and 200 plates. On the basis of this work, Prof. MATSUMOTO established a new, fine scheme of the classification of Cretaceous ammonites and clarified their evolutionary history. The second work has been made on the basis of detailed field survey in important areas of the Cretaceous deposits, particularly in Hokkaido. Prof. MATSUMOTO presented detailed stratigraphical sequences and a fine scheme of zonation, showing zonal indices and ranges of principal species of ammonites and inocerami. This work has resulted in an international correlation of the Cretaceous rocks of Japan and adjacent areas with those of European and other provinces. In the third work Prof. MATSUMOTO gave systematic descriptions of Upper Cretaceous ammonites obtained from about 600 localities in California and fine results of correlation within the West Coast of North America and also with the Japanese as well as the international scale. For these distinguished works he was awarded the Asahi Cultural Prize in 1960 and the Japan Academy Prize in 1969.

Besides the above mentioned and many other outstanding works in the Cretaceous geology and palaeontology, Prof. MATSUMOTO has made valuable contributions to the geologic history of the Circum-Pacific areas. Lastly it should be mentioned that he took the fine leadership in the organization of intra- and inter-national research projects and in the activity of the Geological Society and the Palaeontological Society of Japan as a councillor and the president.

序

松本達郎教授は昭和14年九州大学理学部創設以来38年にわたり同学部に勤務されたが、52年4月1日付で定年で御退官になる。同教授の御功績を記念する事業の1つとして、広く多くの方がたに呼びかけて記念論文集を刊行することも考えられたが、印刷費高騰の折から、大げさにならないようにとの同教授の御意向もあって、教室関係者だけの論文をもちより、この「研究報告」に収めて、同教授に捧げることにした。この

機会に、松本教授の略歴と業績表を添えて、学術上その他の功績を記録しておきたい。なお、松本教授在職中の最終の欧文論文は理学部紀要（地質学）に掲載されるが、記念事業会がその増刷をとって配布する。

功績の概要

松本達郎教授は、昭和11年3月東京帝国大学理学部地質学科を卒業ののち、同大学大学院に進み、小林貞一教授の御指導のもとに本邦白亜系の基礎的研究にはげまれ、昭和14年4月九州帝国大学に理学部が開設さ

れると同時に助教授として迎えられた。当初は地質学教室の第一講座（現 層序学講座）担任の渡辺久吉教授を助け、同教授の急逝に伴い同講座を分担した。昭和16年に第四講座（現 古生物学）が開設されるとともにその担任助教授となり、同19年12月に教授に昇任、30年に第四講座の担当を解いて第一講座を担当することとなり、今日まで38年間永続勤務された。その間、松本教授はおもに古生物学、層序学、地史学の分野で学術的にすぐれた多くの研究業績を挙げるとともに、学生と若い研究者の教育・指導に力を尽され、当地質学教室の充実・発展だけでなく、広く学界の進歩に大きく寄与された。

松本教授の地質学研究に対する指向は、旧制静岡高等学校在学中、当時同校に在職された今野円蔵教授の御指導を受けたことから本格化したと聞く。そして東大理学部在学中（昭和9年）の論文発表以来、添付業績目録にみられるように、190篇をこす多数の研究業績を挙げられた。これらの業績は国内・外で高く評価されていることは周知のところ、それらの一部に対して与えられた西日本文化賞（昭和19年）、朝日文化賞（昭和35年）、学士院賞（昭和44年）の受賞は、同教授の秀れた業績の一端を現わしているにすぎない。

松本教授の研究業績は多岐にわたるが、それらは常に一貫した統一的展望のもとになされている。中でも最も力が注がれたのは、(1)日本産白亜紀アンモナイトの研究、(2)本邦白亜系の層序区分の研究、(3)北アメリカ西岸域白亜紀アンモナイトの研究である。(1)の成果は約50篇の論文に逐次発表されており、これを合本すれば、約1,000頁、図版200をこす大論文集となる。その中には日本特有のものも含めて多数の新属・新種があり、これらの研究を素材として、欧米学者によるアンモナイトの分類体系が大きく修正され、新しい分類体系に基いて、進化史が明らかにされた。この古生物学的研究では、常にしっかりした層序学的研究の基礎の上に立って、化石の産出層位を明確にし、可能な限り豊富な標本を得て系統的分類単位（多くは科・亜科）ごとに組織的な研究が進められている点に特色がある。このような実証的研究方法に裏うちされた同教授の研究は、世界のアンモナイト学の主導的役割を果たしてきた。研究に用いられた標本の主要なものは北海道中軸部の白亜系産のもので、第2次大戦の終戦直前・直後の3、4年を除いて、毎年人跡まれな、ひ熊の出没する深山幽谷から、自ら、あるいは協同研究者とともに苦労して採集されたものである。これらは整理されて地質学教室模式標本室に保管されており、世界に誇る

べき貴重なもので、将来の研究にも大きく資するであろう。

松本教授は、(1)の古生物学的研究と平行して、かつそれを活用しながら、(2)の研究を進め、国際的に規準尺度として広く使われるような白亜系の層序区分の設定、とくに詳細な分帯に成功した。この研究の基礎として、松本教授は本邦要地の白亜系の層序学的研究を進めてきた。中でも、研究の頭初から今日まで最も力を注いだのは北海道中軸帯の白亜系である。東大卒業後わずか数年の1942年に早くも出版された *Fundamentals in the Cretaceous stratigraphy of Japan, Part I—III* (学位論文：九大理紀要) は日本の白亜系研究の画期的大作で、北海道の天塩・石狩・主支張・ヘトナイ・浦河の諸地域および南樺太の相川・内淵地域の研究成果がまとめられ、白亜系生層序の内容を従来の知識から格段に引き上げ、その後の多くの研究の基礎となった。この成果に対し、昭和19年度の西日本文化賞が授与されている。その後、北海道中軸諸地域の白亜系化石層序は引き続き精査改良が重ねられ、今日では世界の白亜系化石層序の1つの重要なレファレンス・セクションとして国際的に重視されている。

松本教授の化石層序学的研究は、北海道だけに止まらず、日本の白亜系要地の多くにおよんでいる。その主なものとして、卒業論文として研究した大野川盆地、それに続く天草御所浦島、熊本南方の御船地域、和歌山県有田川、湯浅地域、球磨川下流々城、北九州・西中国地域などがある。戦後の約10年間は野外地質調査による層序学的研究が諸地質系統について急速に進展した時代であったが、松本教授が主導的役割を果たした白亜系に関する研究の進展はとくに目ざましく、同教授自身の研究を含めて、1954年には、他の多くの白亜系研究者の協力を得て、日本全域の白亜系の分布・岩相層序、化石群、構造を詳細に記述した *The Cretaceous System in the Japanese Islands* を集大成し、さらに1956年メキシコ市での国際地質学会で発表した *Zoning of the Upper Cretaceous in Japan and adjacent areas with special reference to world-wide correlation* と共に海外に大きな反響をよんだ。この層序区分と分帯は、近年さらに精度が高められ、いくつかの近著に発表されている。

松本教授の層序学的研究は極めて精度の高いもので、すべて詳細なルートマップを作り、岩相層序・構造を明らかにし、化石の産出層位を確認し、地質図・断面図・柱状図にまとめられている。地質調査における松本教授の観察のするどさと判断的確さは、調査に同

行した者が常に敬服したところで、発表された諸論文は化石層序学の研究の最も模範的なものとして高く評価されてきた。

松本教授は、昭和28年7月から29年9月にかけて、英国文化振興会 (The British Council) 奨学金を受けて、ロンドンの大英博物館に留学し、日本産白亜紀アンモナイトと英国・フランスの模式層産のものとの比較研究を行なった。その成果は、その後の研究に大きく活用され、上記の(1)の研究が急速に進展した。

(3) 昭和32年2月から33年3月にかけて、SCHENCK教授の招きにより、フルブライト奨学金を得て Stanford 大学に客員教授として渡米し、その間カルフォルニア州 Great Valley の野外調査を進めるとともに、カリフォルニア大学、カンザス大学、テキサス大学、米国地質調査所、国立科学博物館、カリフォルニア州科学アカデミー等に所蔵の標本をも加え、約600個所から採集したアンモナイトについて研究を行った。その成果は、Upper Cretaceous ammonites of California, Part I (1959), II (1959), III (1960) として本文450頁、図版59枚の大作として九大理学部紀要から相ついで発表された。この研究は、松本教授が日本の白亜系について得た前記(1)(2)の成果が国際的に有効であることを、北米の素材について自ら実証したものであって、米国の学者によって多年未解決であった問題を、極めて短期間に解決したので、欧米学者の賞讃を惜しまざる所となった。

これらの(1)(2)(3)の総合成果は、環太平洋地域の白亜紀アンモナイトの研究と総称され、その偉大な学術的貢献が認められて、昭和44年度日本学士院賞が授与された。まさしく日本の学界の水準を国際的に著しく高めたもので、特筆すべき功績である。

このほか、地史学的研究にもすぐれた成果をあげている。白亜紀の地史に関するもののほか、西南日本外帯の地質構造発達史上最も重要な変動階梯として認められている高千穂変動(1942)の解明、和歌山県湯浅地域・熊本県唐津川下流々域の研究に基づく古生代末・中生代の諸変動および秩父帯中の構造線に出現する火成岩・変成岩の地史学的意義(1947, 1949)や西中国・北九州の後期中生代の変動の研究(1951)等の先駆的業績があり、のちの多くの研究に大きな影響をおよぼした。近年では、第11回太平洋学術会議において、環太平洋地域の造山運動の時期と性格と題する国際討論会を企画し、その成果を編集・出版した。そして1972~1975年には太平洋学術協会の固体地球科学委員長をつとめ、1973年グアム大学における第2回中間会議と

1975年のカナダ国プリティコロンビア大学における第13回太平洋学術会議に際し、固体地球科学関係の討論会をともに企画してこれらを成功させた。後者の論文集は Canadian Journal of Earth Science に近く掲載される予定である。また英国の地質学会より乞われて、世界の造山帯の大著の中で、西南日本の部分を執筆した。さらに1974年以来、国際地質対比計画(IGCP)の1課題として白亜紀中期の地史的事変(Mid-Cretaceous Events)をウプサラ大学の REYMENT 教授とともに提唱し、これの実施に力をつくし、1976年夏には、その第2回国際研究集會を北海道で開催してこれを成功させ、その成果は1977年4月までに出版されることになっている。

他方、国内的には、昭和28~30年に後期中生界に関して、42~44年には地向斜堆積物に関して、総合研究を組織し、いずれも多数の協力者を得て成功させた。前者は The Cretaceous System in the Japanese Islands (1951)、後者は地質学会からの地質学論集刊行のきっかけを作った第1号、地向斜堆積物の総合的研究(1968)および第6号、地向斜堆積物の研究(1971)として出版し、日本のおもに古生界・中生界に関して多数のすぐれた研究を果した。

松本教授は化石層序に基づく白亜系の年代区分に関して重要な貢献をしたことはすでに述べたが、同時に、放射性同位体による絶対年代研究の促進とそれによる相対年代の検証に熱意を注いだ。すなわち、九大理学部に質量分析機の導入に努力し、学外では日本学術会議地質学研究連絡委員会の地質年代学小委員会委員長(1964—1970)、国際的には International Union of Geological Sciences の Geochronological subcommission の委員をつとめ、この分野の発展に尽した。

以上のほか、松本教授は早くから堆積学分野の重要性を認識し、陽に陰にその発展に意をつくした。この分野における藤井浩二、岡田博有、満塩博美博士らのすぐれた研究の陰には、松本教授の適切な指導と強い支持があったことを忘れることはできない。

教育面で松本教授が果たした功績もまた顕著である。同教授のもとには、真摯な学風を慕って終始多数の学生が直接指導を受け、優秀な人材が輩出し、各方面に活躍している。学問に対するきびしさの故に、表面的にはこわい先生という印象を与えることもあったが、同教授の非凡な指導力と、きびしさの中に真剣に学生のことを考えてくれる温情は、学生から心からの畏敬と強い信頼を受けた。アカデミックな分野に限って見たとき、門下生からはすでに多数諸大学の教授・助教

授として活躍している。学位取得者も多数に上っており、学会賞・学会研究奨励賞を受賞したのも少なくない。学外者で同教授の指導を受け学位を得た人も少なくない。また、東北大学、東京大学、京都大学、新潟大学、名古屋大学、大阪市立大学、広島大学、山口大学、熊本大学、鹿児島大学から再三非常勤講師として招かれて講述するとともに、地史学・古生物学の水準の高い教科書の編集に主導的役割を果たした自ら著述し、広く全国的に教育上の影響がおよんでいる。なお、松本教授が「九州地方地質誌」を著わしたときの印税および前記の朝日文化賞を受賞した時の副賞を九州大学に寄付してそれぞれ高千穂奨学金、松本奨学金を設け、学生の勉学・研究をたすけはげましてきたことも銘記すべきである。

一方、松本教授を頼って海外から来訪した学者も少なくない。なかでも A. SEILACHER 教授(チュービンゲン大学)、R. A. REYMENT 教授(ウブサラ大学)は、ともに3ヶ月以上滞在して研究を進め、R. JORDAN 博士(西独地質調査所)、J. A. JELETZKY 博士(カナダ国地質調査所)、J. M. HANCOCK 博士(ロンドン大学)、W. J. KENNEDY 博士(オクスフォード大学)は直接専門に関連して来訪し、研究した。また、構造地質学専門の W. SCHWAN 教授(エルランゲン大学)も同教授が中心になって迎えられ、これらを通じ、国際的の学術交流にも力を尽された。

松本教授は九大地質学教室の創設と同時に赴任し、先輩教授を援けて教室の基礎作りを力尽された。とくに図書の充実を熱意を傾け、外国図書の入手が極めて困難であった戦時中にもかかわらず、多くの重要文献を整備し、爾後の研究に資するところが大きかった。また鳥山教授とともに研究報告・紀要の出版交換に終始つくされ、理学部図書委員長、紀要委員長をつとめられた。学内では、入江英雄学長のもとに評議員をつとめ、九大の管理・運営に尽力された。

最後に、学会活動など学外における功績を略記する。松本教授は日本地質学会評議員、日本古生物学会評議員、日本地学協会評議員を歴任し、昭和49—50年には日本地質学会会長を、48年から今日まで日本古生物学会会長をつとめ、また日本学術会議地質学研究連絡委員会委員および同古生物学研究連絡委員会委員を多年にわたり歴任し、現在古生物学研究連絡委員会の委員長をつとめている。国際的には、昭和40年の第11回太平洋学術会議組織委員、国際地質学連合地質年代学小委員会委員および同委員長、国際古生物学協会副会長、太平洋学術協会固体地球科学委員会委員ならびに委員

長として活躍し、日本の学会の振興と国際的な学術の交流に多大の貢献をした。

以上、松本教授の功績の概要を記し、これを讃えるとともに、永年のご尽力に対して深く感謝の意を表す。同教授は若者をしのぐ元気で、ますます活発に研究を進めておられる。同教授のすぐれた知識と経験から、今後とも私ども後進をご指導・ご鞭撻下さるようお願いしたい。

松本達郎教授略歴

大正2年11月2日東京に生れる

学歴・資格

昭和8年3月 静岡高等学校理科甲類卒業
 “ 11年3月 東京帝国大学理学部地質学科卒業
 “ 14年3月 東京帝国大学理学部大学院退学
 “ 19年6月 理学博士(主論文: Fundamentals in the Cretaceous stratigraphy of Japan).

職歴・併任

昭和14年4月 九州帝国大学助教授(理学部)
 “ 15年9月 地質学第1講座分担
 “ 16年4月 地質学第1講座分担を免じ地質学第4講座担任
 “ 19年12月 九州帝国大学教授、理学部地質学第4講座担任
 “ 22年6月 広島文理科大学講師(併任)
 “ 28年4月 九州大学大学院研究科指導教官
 “ 30年3月 地質学第4講座担任を免じ地質学第1講座担任
 “ 30年11月 広島大学理学部講師(併)
 “ 31年5月 工業技術院地質調査所調査員(併)
 “ 33年5月 同上
 “ 34年10月 熊本大学理学部講師(併)
 “ 35年4月 東京大学理学部講師(併)
 “ 36年2月 大阪市立大学理学部講師(併)
 “ 40年4月 地質学第1講座担任を免じ、層序学講座担任
 “ 40年4月 東北大学理学部講師(併)
 “ 42年10月 鹿児島大学理学部講師(併)
 “ 44年10月 九州大学評議員(併)(~46年3月)
 “ 47年5月 名古屋大学理学部講師(併)
 “ 47年4月 九州大学教養部講師(併)
 “ 48年4月 東北大学理学部講師(併)
 “ 48年4月 東京大学理学部講師(併)
 “ 49年4月 指定職

- 昭和49年10月 京都大学理学部講師 (併)
 " 50年6月 山口大学文理学部講師 (併)
 " 51年4月 九州大学教育学部講師 (併)
 " 51年7月 熊本大学理学部講師 (併)
 " 51年10月 新潟大学理学部講師 (併)
 " 52年4月 定年退職

嘱託・委員

- 樺太庁石油地質調査事務嘱託 (昭和11年~12年)
 日本学術振興会学術第6常置委員会委員 (昭和22年)
 文部省大学々術局研究助成課学術奨励審議会科学研究費等分科審議会委員 (昭和24年~25年)
 日本学術会議地質学研究連絡委員会委員 (昭和26年~29年, 32年~35年, 39年~40年, 44年~47年)
 日本学術会議古生物学研究連絡委員会委員 (昭和26~27年, 41年 (幹事), 44年, 47年 (幹事)~51年 (委員長~現在))
 第11回太平洋学術会議組織委員会委員 (昭和40年)
 日本学術会議太平洋学術研究連絡委員会委員 (昭和47年~現在)
 日本学術会議国際協力事業特別委員会, 国際地質対比計画 (IGCP) 分科会委員 (昭和51年~現在)

学会役員

- 日本地質学会評議員 (昭和23年~48年)
 日本地質学会会長 (昭和49年~50年)
 日本古生物学会評議員 (昭和25年~現在)
 日本古生物学会特別号編集委員長 (昭和39~47年)
 日本古生物学会会長 (昭和48~52年)
 東京地学協会評議員 (昭和47年~現在)
 国際地質学連合地質年代学小委員会委員 (Subcommission on Geochronology, International Union of the Geological Sciences) (1964-1972)
 国際古生物協会副会長 (International Palaeontological Association, Vice President) (1972-1976)
 太平洋学術協会固体地球科学委員会委員 (Scientific Committee on Solid Earth Sciences, Pacific Science Association) (1963-1975), 委員長 (Chairman) (1972-1975)
 国際地質対比計画, 白亜紀中期の地史的事変研究メンバー (International Geological Correlation Programme, Mid-Cretaceous Events) (1974-Present)

松本達郎教授業績目録

Scientific Achievements of Professor Tatsuro MATSUMOTO

A. 論文 (欧文)

Original Papers written in English

- 1936: Preliminary Notes on the So-called *Parapachydiscus egertoni* (FORBES) from Japan. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, **13**, 259-267, pls. 30-31.
- 1938: Preliminary Notes on Some of the More Important Fossils among the Goshonoura Fauna. *Jour. Geol. Soc. Japan*, **45**, 13-24, pls. 1-2.
- 1938: A Biostratigraphic Study on the Cretaceous Deposits of the Naibuti Valley. South Karahuto. *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, **14**, 190-194.
- 1938: *Zelandites*, A genus of Cretaceous Ammonites. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, **15**, 137-148, pl. 14.
- 1939: (With Takumi NAGAO) A Monograph of the Cretaceous *Inoceramus* of Japan, Part I. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ.*, Ser. IV, **4**, 241-299, pls. 23-34.
- 1940: (With Takumi NAGAO) A Monograph of the Cretaceous *Inoceramus* of Japan, Part II. *Ibid.*, **6**, 1-64, pls. 1-22.
- 1940: On the Urakawa Transgression in Japan. Jubilee Pub. Comm. Prof. H. YABE's 60th Birthday, 743-749.
- 1942: A Note on the Japanese Cretaceous Ammonites Belonging to the Subfamily Desmoceratinae. *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, **18**, 24-29.
- 1942: A Note on the Japanese Ammonites Belonging to the Gaudryceratidae. *Ibid.*, **18**, 666-670.
- 1942: A Note on the Japanese Ammonoid Species Belonging to the Tetragonitidae. *Ibid.*, **18**, 671-673.
- 1942: A Short Note on the Japanese Cretaceous Phylloceratidae. *Ibid.*, **18**, 674-676.
- 1942: Fundamentals in the Cretaceous Stratigraphy of Japan, Part I. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Imp. Univ.*, Ser. D, **1**, 130-

- 280, pls. 1-20.
13. 1943: Fundamentals in the Cretaceous Stratigraphy of Japan, Parts II & III. *Ibid.*, 2, 98-237.
 14. 1949: (With Kametoshi KANMERA) Contributions to the Tectonic History in the Outer Zone of Southwest Japan. *Ibid.*, 3, 77-90.
 15. 1949: The Late Mesozoic Geological History in the Nagato Province, Southwest Japan. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 21, 235-243.
 16. 1951: A Note on the Pachydiscinae, a Cretaceous Ammonite Group. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 1, 19-26.
 17. 1952: A Note on the Cretaceous History of the Circum-Pacific Region. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 22, 109-118.
 18. 1952: (With Toshio KIMURA and Jiro KATTO) Discovery of Cretaceous Ammonites from the Undivided Mesozoic Complex of Shikoku, Japan. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 3, 179-186, pl. 13.
 19. 1953: The Ontogeny of *Metaplacenticeras subtilistriatum* (JIMBO). *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 23, 139-150, pl. 13.
 20. 1953: (With Wataru HASHIMOTO) A Find of *Pseudaspidoceras* from Hokkaido, Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 12, 97-102, pl. 10.
 21. 1953: Comparative Geotectonic History of the Cretaceous Period in the Circum-Pacific Region. *Proc. 7th Pacific Sci. Congr.*, 2, 264-265.
 22. 1954: Selected Cretaceous Leading Ammonites in Hokkaido and Saghalien. In T. MATSUMOTO (Editor): *The Cretaceous System in the Japanese Islands*, 243-324, pls. 1-20, Jap. Soc. Prom. Sci., Tokyo.
 23. 1954: (With Rinji SAITO) A Nearly Smooth Pachydiscid from Hokkaido, Japan. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 24, 87-92, pls. 9-11.
 24. 1954: (With C. W. WRIGHT) Some Doubtful Cretaceous Ammonite Genera from Japan and Saghalien. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 4, 107-134, pls. 7-8.
 25. 1954: Family Puzosiidae from Hokkaido and Saghalien. *Ibid.*, 5, 69-118, pls. 9-23.
 26. 1955: Evolution of Peroniceratidae. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 18, 37-44.
 27. 1955: Family Kossmaticeratidae from Hokkaido and Saghalien. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 26, 115-164, pls. 8-10.
 28. 1955: (With Ikuwo OBATA) Some Upper Cretaceous Desmoceratids from Hokkaido and Saghalien. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 5, 119-151, pls. 24-30.
 29. 1955: The Bituberculate Pachydiscids from Hokkaido and Saghalien. *Ibid.*, 5, 153-184, pls. 31-37.
 30. 1956: (With Rinji SAITO) A New Species of *Damesites* from the Cenomanian of Hokkaido, Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 22, 191-194.
 31. 1956: *Yebisites*, A New lower Jurassic Ammonite from Japan. *Ibid.*, 23, 205-212, pl. 30.
 32. 1956: Further Notes on the Kossmaticeratids from Hokkaido. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 27, 123-187, pls. 14-16.
 33. 1956: The Characteristic Features of the Cretaceous System in the Japanese Islands. *Proc. 8th Pacific Sci. Congr.*, 2, 457-462.
 34. 1957: (With Rinji SAITO and Atsuo FUKUDA) Some Acanthoceratids from Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 6, 1-45, pls. 1-18.
 35. 1957: *Inoceramus mihoensis* n. sp. and its Significance. *Ibid.*, 6, 65-68, pl. 21.
 36. 1957: A Turonian *Damesites* from Hokkaido, Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 27, 86-88, pl. 15.
 37. 1958: (With H. W. MILLER) Cretaceous Ammonites from the Spillway Excavation of Cedar Bluff Dam, Trego County, Kansas. *Jour. Paleont.*, 32, 351-356, pls. 44-45.
 38. 1959: Cretaceous Ammonites from the Upper Chitina Valley, Alaska. *Mem. Fac.*

- Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 8, 49-90, pls. 12-29.
39. 1959: Upper Cretaceous Ammonites of California, Part I. *Ibid.*, 8, 91-171, pls. 30-45.
40. 1959: Zonation of the Upper Cretaceous in Japan. *Ibid.*, 9, 55-93, pls. 6-11.
41. 1959: Zoning of the Upper Cretaceous in Japan and Adjacent Areas with Special Reference to World-wide Correlation. *Congr. Geol. Intern. XX Session, Mexico*, 1956, Symposium del Cretacico, 347-381.
42. 1959: Upper Cretaceous Ammonites of California, Part II. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, Special Vol. 1, 1-172, pls. 1-41.
43. 1960: Upper Cretaceous Ammonites of California, Part III. *Ibid.*, Special Vol. 2, 1-204, pls. 1-2.
44. 1960: Cretaceous-Tertiary Boundary in the Japanese Islands. *Rep. Intern. Geol. Congr. XXI Session, Norden*, 1960, 5, 50-56.
45. 1960: *Graysonites* (Cretaceous Ammonites) from Kyushu. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 10, 41-58, pls. 6-8.
46. 1961: (With Yasuaki TAKAI) Cretaceous-Tertiary Unconformity in Nagashima, Southwest Kyushu. *Ibid.*, 11, 257-278, pls. 11-12.
47. 1962: (With Koji FUJII and Kametoshi KANMERA) Notes on the Chichibu Geosyncline (Appendix to Petrography of the Upper Palaeozoic Sandstones from the Yatsushiro Area, Kyushu by Koji FUJII). *Ibid.*, 12, 204-216.
48. 1962: (With Yoshiro UEDA) Palaeontological Notes (Appendix to The Type Hime-noura Group by Yoshiro UEDA). *Ibid.*, 12, 162-174, pls. 22-27.
49. 1963: (With Ikuwo OBATA) A Monograph of the Baculitidae from Japan. *Ibid.*, 13, 1-116, pls. 1-27.
50. 1963: The Cretaceous. In Fuyuji TAKAI, Tatsuro MATSUMOTO and Ryuzo TORIYAMA (Eds.): *Geology of Japan*, Chapt. 7, 99-128, Univ. Tokyo Press.
51. 1963: (With Itaru HAYAMI and Kiyoshi ASANO) A Survey of the Fossils from Japan Illustrated in Classical Monographs, Part VII. *Palaeont. Soc. Japan 25th Ann. Vol. 27-32*, pls. 44-51.
52. 1963: (With Itaru HAYAMI and Kiyoshi ASANO) A Survey of the Fossils from Japan Illustrated in Classical Monographs, Part VIII. *Ibid.*, 33-36, pls. 52-53.
53. 1963: A Survey of the Fossils from Japan Illustrated in Classical Monographs, Part X. *Ibid.*, 41-48, pls. 60-68.
54. 1963: (With Ikuwo OBATA) *Bevahites* (Cretaceous Ammonite) from Shikoku. *Bull. Nat. Sci. Museum*, 6, 405-410, pl. 61.
55. 1964: (With Mashisa AMANO) Notes on a Cretaceous Nautiloid from Kyushu. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 53, 173-178, pl. 26.
56. 1964: (With Masato HARADA) Cretaceous Stratigraphy of the Yubri Dome, Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 15, 79-115, pls. 9-11.
57. 1964: (With Ikuwo OBATA, Shiro MAEDA and Teruo SATO) *Yabeicerias* (Cretaceous Ammonites) from Futaba, Northeast Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 56, 322-331, pl. 48.
58. 1965: A Monograph of the Collignoniceratidae from Hokkaido, Part I. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 16, 1-80, pls. 1-18.
59. 1965: A Monograph of the Collignoniceratidae from Hokkaido, Part II. *Ibid.*, 16, 209-243, pls. 36-43.
60. 1965: (With Itaru HAYAMI and Wataru HASHIMOTO) Some Molluscan Fossils from the Buried Cretaceous of Western Taiwan. *Petroleum Geol. Taiwan*, 4, 1-23.
61. 1966: (With Ikuwo OBATA) An Acanthoceratid Ammonite from Saghalien. *Bull. Nat. Sci. Museum*, 9, 43-52, pls. 1-4.
62. 1966: (With C.W. WRIGHT) *Collignonicerias BREITROFFER*, 1947 (Mollusca, Ammonidea): Application to Place on the Official List

- of Generic Names in Zoology with Priority from 1876. Z. N. (S). 1738. *Bull. Zool. Nomencl.*, 23, 57-59.
63. 1966: (With Hideo ISHIKAWA and Shiro YAMAKUCHI) A Mesozoic Ammonite from Amami-Oshima. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, 62, 234-241.
64. 1966: A Cretaceous Ammonite from the Island of Curacao, Netherlands Antilles. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 17, 277-294, pl. 31.
65. 1966: (With M. V. A. SASTRY and S. S. SARKAR) Notes on Some Cretaceous Ammonites from Southern India, Part I. *Ibid.*, 17, (3), 295-397, pls. 32-33.
66. 1966: Notes on *Ammonites flaccidicosta* ROMER from the Cretaceous of Texas. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N. S., 63, 294-302, pl. 32.
67. 1966: (With Masayuki NODA) Notes on *Ammonites bravaisianus* d'ORBIGNY from the Cretaceous of France. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N. S., 64, 359-365, pl. 40.
68. 1967: (With M. V. A. SASTRY) Notes on Some Cretaceous Ammonites from Southern India, Part II. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 17, 1-5, pl. 1.
69. 1967: Fundamental Problems in the Circum-Pacific Orogenesis. *Tectonophysics*, 4, 595-613.
70. 1967: A Cretaceous Nautiloid from Urakawa, Hokkaido. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 38, 163-169, pl. 3.
71. 1967: Evolution of the Nostoceratidae (Cretaceous Heteromorph Ammonoids). *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 18, 331-347, pls. 18-19.
72. 1967: (With Yasumitsu KANIE) *Ainoceras*, A New Heteromorph Ammonoid Genus from the Upper Cretaceous of Hokkaido. *Ibid.*, 17, 349-359, pls. 20-21.
73. 1967: (With Tatsuo MURAMOTO) Two Interesting Heteromorph Ammonoids from Hokkaido. *Ibid.*, 17, 361-366, pls. 22-24.
74. 1968: Bibliography of Geochronological Data in Japan(1). *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 39, 1-5.
75. 1968: (With Masaru YAMAGUCHI, Takeru YANAGI, Susumu MATSUSHITA, Ichikazu HAYASE, Kyoichi ISHIZAKA, Yoshinori KAWANO and Yoshio UEDA) The Precambrian Problem in Younger Orogenic Zones: An Example from Japan. *Canadian Jour. Earth Sci.*, 5, 643-648.
76. 1968: (With Isao NAKAI) On Some Ammonites from the Cretaceous Fujikawa Formation of Shikoku. *Jour. Sci. Hiroshima Univ.*, Ser. C, 6, 1-15, pls. 1-3.
77. 1968: (With Masayuki NODA) An Interesting Species of *Inoceramus* from the Upper Cretaceous of Kyushu. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N. S., 71, 317-325, pl. 32.
78. 1968: (With Kametoshi KANMERA and Hidehiko SAKAMOTO) Notes on Two Cretaceous Ammonites from the Tomochi Formation of Kyushu. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 39, 139-148, pl. 2.
79. 1968: The Problem of the Cretaceous-Tertiary Boundary. *Geol. Soc. India, Mem.* 2, 369-370.
80. 1969: (With Tatsuo MURAMOTO and Takemi TAKAHASHI) Selected Acanthoceratids from Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 19, 251-296, pls. 25-38.
81. 1969: Geochronology and Historical Geology in Japan. *Mass Spectroscopy*, 17, 434-444.
82. 1969: (With Seiya UYEDA) Developments in Solid Earth Sciences of Japan During the Period 1967-1968. *Jour. Geogr. Soc. Tokyo*, 78, 434-439.
83. 1969: A Monograph of the Collignoniceratidae from Hokkaido, Part III. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 19, 297-330, pls. 39-45.
84. 1969: (With Motome HIRATA) A New Ammonite from the Shimantogawa Group of Shikoku. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, 76, 177-184, pl. 20.
85. 1970: A Monograph of the Collignonicera-

- tidae from Hokkaido, Part IV. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 20, 225-304, pls. 30-47.
86. 1970: Uncommon Keeled Ammonites from the Upper Cretaceous of Hokkaido and Saghalien. *Ibid.*, 20, 305-317, pls. 48-49.
87. 1971: (With Hakuyu OKADA) Clastic Sediments of the Cretaceous Yezo Geosyncline. *Mem. Geol. Soc. Japan*, (6), 61-74.
88. 1971: A Monograph of the Collignoniceratinae from Hokkaido, Part V. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 21, 129-162, pls. 21-24.
89. 1972: (With Tatsuo MURAMOTO and Akitoshi INOMA) Two Small Desmoceratid Ammonites from Hokkaido. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 87, 377-394, pl. 47.
90. 1972: (With Tatsuo MURAMOTO and Takemi TAKAHASHI) A New Gaudryceratine Ammonite from the Cenomanian of Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 21, 207-215, pls. 33.
91. 1973: Vascoceratid Ammonites from the Turonian of Hokkaido. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 89, 27-41, pl. 8.
92. 1974: (With Minoru TAMURA and Masakatsu MATSUKUMA) On the Age of the Mifune Group, Central Kyushu, Japan. *Mem. Fac. Educ., Kumamoto Univ.*, 23, 47-56, pl. 1.
93. 1975: Additional Acanthoceratids from Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 22, 99-163, pls. 11-23.
94. 1975: (With Wataru HASHIMOTO et al.) Cretaceous System of Southeast Asia. *Geol. Palaeont. Southeast Asia*, 15, 219-287.
95. 1975: Ammonitology in Japan—a Historical Review. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 97, 1-6.
96. 1975: (With Tadashi KAWANO) A Find of *Pseudocalycoceras* from Hokkaido. *Ibid.*, 97, 7-21, pl. 1.
97. 1975: (With Akitoshi INOMA) Mid-Cretaceous Ammonites from the Shumarinai-Soeushinai Area, Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 23, 263-293, pls. 38-42.
98. 1975: (With Hakuyu OKADA) Coarsening-upward Cyclic Sedimentation in Geosynclinal Belts and its Tectonic Significance. *9th Intern. Congr. Sedimentology*, Nice-1975., 269-275.
99. 1975: (With Masayuki NODA) Notes on *Inoceramus labiatus* (Cretaceous Bivalvia) from Hokkaido. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan*, N.S., 100, 188-208, pl. 18.
100. 1975: (With Masayuki TASHIRO) A Record of *Mortonicerias* (Cretaceous Ammonite) from Goshonoura Island, Kyushu. *Ibid.*, 100, 230-238, pl. 25.
101. 1976: A Concise History of Palaeontology in Japan. Concluding Remarks. *Ibid.*, 100S, 74-80.
102. 1976: (With Hiromichi HIRANO) Colour Patterns in Some Cretaceous Ammonites from Hokkaido. *Ibid.*, 102, 334-343, pl. 35.
103. 1976: Timing of Geological Events in the Circum-Pacific Region. *Canadian Jour. Earth Sci.*, 13 (in press).
104. 1976; (With Hakuyu OKADA, Hiromichi HIRANO and Kazushige TANABE). Mid-Cretaceous Biostratigraphic Succession in Hokkaido. In R. A. REYMENT (ed.): *Regional report of Mid-Cretaceous Events. Ann. Mus. d'Hist. Nat. Nice* (in press).
105. 1977: (With Ken SHIBATA, Takeru YANAGI and Reiko HAMAMOTO) Isotopic Ages and Stratigraphic Control of Mesozoic Igneous Rocks in Japan. *Amer. Ass. Petrol. Geol.*, (submitted, 1976)
106. 1977: (With Hiromichi HIRANO and Kazushige TANABE) Mid-Cretaceous Biostratigraphic Succession in the Oyubari Area, Central Hokkaido. *Palaeont. Soc. Japan, Special Papers*, 21 (in press)
107. 1977: Zonal Correlation of the Upper Cretaceous in Japan. *Ibid.* (in press)
108. 1977: On the so-called Cretaceous transgres-

sions. *Ibid.* (in press)

109. 1977: Some heteromorph ammonites from the Cretaceous of Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ.*, Ser. D, 23, (3), 303-366, pls. 43-61.

B. 論文 (和文) (*付英文摘要) Written in Japanese (*With English abstract)

1. 1934: 片瀬層, 地質学雑誌, 41, 551-561.
The Katase Formation. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 41, 554-561.
2. 1936: (小林貞一と共著) 西南日本地体構造と中生代古地理に関する一考証 (その5). 同上, 3, 542-550.
(With Teiichi KOBAYASHI) A Study on the Geologic Structure of Southwest Japan and Mesozoic Paleogeography, Part 5. *Ibid.*, 43, 542-550.
3. 1936: 九州大野川盆地の地史学的研究. 同上, 43, 758-786, 815-852.
*Geology of the Onogawa Basin, Kyushu. *Ibid.*, 43, 758-786, 815-852.
4. 1937: 天草御所浦島の地質. 同上, 44, 594-596.
Geology of the Goshonoura Island, Amakusa. *Ibid.*, 44, 594-596.
5. 1937: (大石三郎と共著) 樺太気屯川・保恵川間の地質. 同上, 44, 1087-1097.
(With Saburo OISHI) Geology along the Keton and Hoe Rivers, Karafuto. *Ibid.*, 44, 1087-1097.
6. 1937: (長尾巧と共著) 本邦白亜系産イノセラムスに就て (予報). 同上, 44, 1222-1223.
(With Takumi NAGAO) On *Inoceramus* from the Cretaceous of Japan. *Ibid.*, 44, 1222-1223.
7. 1938: 天草御所浦島における地質学的研究 (特に白亜系の地史学的研究). 同上, 45, 1-46.
*Geological Study of the Goshonoura Island, Amakusa, with Special Reference to the Cretaceous Stratigraphy. *Ibid.*, 45, 1-46.
8. 1938: (長尾巧, 斉藤林次と共著) 北海道幾春別川筋白亜系層序の予察 (特に *Inoceramus* の産出順序について). 同上, 45, 259-263.
(With Takumi NAGAO and Rinji SAITO) Preliminary Note on the Cretaceous Stratigraphy along the Ikushumbetsu River, Hokkaido, with Special Reference to the Succession of *Inoceramus*. *Ibid.*, 45, 259-263.
9. 1938: 東京帝大樺太演習林相川中流々域の地質. 地学雑誌, 50, 339-345.
Geology of the Middle Course District of the Aikawa in the Saghalien Experimental Plantation of the Tokyo Imperial University. *Jour. Geogr.*, 46, 1-12.
10. 1939: 熊本県御船地方の地質学的研究 (特に白亜系を中心として). 地質学雑誌, 46, 1-12.
*Geology of the Mifune Area, Kumamoto Prefecture, Kyushu, with Special Reference to the Cretaceous Stratigraphy. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 46, 1-12.
11. 1939: (藤本治義と共著) 熊本県上益城郡の秩父系1累層について. 同上, 46, 189-192.
*(With Haruyoshi FUJIMOTO) On a Formation Belonging to the Titibu System in Kamimasuki-gun, Kumamoto-ken, Kyushu. *Ibid.*, 46, 189-192.
12. 1939: 中部九州 (いわゆる長崎三角地域に関連せる2・3の地質学的問題). 同上, 46, 366-382.
*Some Geologic Problems Concerning the Central Zone of Kyushu (the "Nagasaki Dreieck"). *Ibid.*, 46, 366-382.
13. 1940: 樺太白亜系最上部 龍ヶ瀬層群の構成物質について. 同上, 47, 383-385.
On the Clastic Sediments of the Ryugase Group, Uppermost Part of the Cretaceous System in Saghalien. *Ibid.*, 47, 383-385.
14. 1941: 異種間の関係についての1研究 (特に化石種の生存期間の問題に関連して). 同上, 48, 19-37.
A Study on the Relation between Different Species, with Special Reference to the Problems on the Range of Fossil Species. *Ibid.*, 48, 19-37.
15. 1942: 北海道・樺太中軸部白亜系の層序学的分類について. 同上, 49, 92-111.
On the Stratigraphic Classification of the Cretaceous Deposits in the Central Zone of Hokkaido and Saghalien. *Ibid.*, 49, 92-111.
16. 1942: 南部印度白亜系と本邦白亜系との対比 (特に菊石類化石に基いて). 同上, 49, 149-164.
Correlation of the Cretaceous Deposits of

- Southern India and Japan (Mainly Based on the Fossil Cephalopods). *Ibid.*, 49, 149-164.
17. 1942: (黒田秀隆と共著) 日向南部の地質学的研究予報 (特に油津町を中心として). 同上, 49, 255-256.
(With Hidetaka KURODA) Geological Study of Southern Nichinan District, Kyushu. - (Preliminary report) - With Special Reference to the Geology around the Aburatsu City. *Ibid.*, 49, 255-256.
18. 1947: 西南日本外帯地質構造発達史に関する新知見 (和歌山県有田川流域の地質学的研究). 九州大学理学部研究報告, 地質, 2, 1-12.
The Geologic Research of the Aritagawa Valley, Wakayama Prefecture. - A Contribution to the Tectonic History of the Outer-Zone of Southwest Japan. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 2, 1-12.
19. 1947: 和歌山県湯浅町附近古白亜系産菊石類化石について. 同上, 2, 13-19.
On Some Interesting Ammonites from the Paleocretaceous of the Yuasa District, Southwest Japan. *Ibid.*, 2, 13-19.
20. 1947: (小野暎と共著) 豊浦層群の化石層序学的研究 (特に菊石類化石に基いて). 同上, 2, 20-33.
(With Akira Ono) A Biostratigraphic Study of the Jurassic Toyora Group, with Special Reference to Ammonites. *Ibid.*, 2, 20-33.
21. 1947: 日本産 Pachydiscinae の概要. 同上, 2, 34-46.
A Note on the Japanese Pachydiscinae. *Ibid.*, 2, 34-46.
22. 1947: 地質構造単元の大きさについて. 科学, 17, 245-246.
On the Dimensions of Tectonic Units. *Kagaku*, 17, 245-246.
23. 1952: 中生代, 地球科学, 15, 1-4.
Mesozoic Era. *Earth Science (Chikyu Kagaku)*, 15, 1-4.
24. 1951: 蝦夷層群と関門層群. 地質学雑誌, 57, 95-98.
The Yezo Group and the Kwanmon Group. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 57, 95-98.
25. 1951: 北九州・西中国の基盤地質構造概説. 九州大学理学部研究報告, 地質, 3, 37-48.
An Outline of the Fundamental Geologic Structure in North Kyushu and West Chugoku. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 3, 37-48.
26. 1951: (前田保夫と共著) 淡路産菊石パツキディスク. 鉱物と地質, 4, 67-70, pl. 5.
(With Yasuo MAEDA) On a Fossil Ammonite Belonging to the Genus *Pachydiscus* from the Island of Awaji. *Minerals and Geology*, 4, 67-70, pl. 5.
27. 1952: (田中啓策, 前田保夫と共著) 淡路島最南部の和泉層群, 地学雑誌, 61, 67-72.
*(With Keisaku TANAKA and Yasuo MAEDA) The Izumi Group in the Southernmost Part of the Island of Awaji. *Jour. Geogr.*, 61, 67-72.
28. 1952: (勘米良亀齡と共著) 球磨川下流々域. 地質巡検旅行案内書, 九州大学理学部地質学教室, 1-71, 1-6図.
(With Kametoshi KANMERA) Along the Lower Course of the Kuma River. - A Guide Book for the Geological Excursion. *Dept. Geol., Fac. Sci., Kyushu Univ.*, 1-71, figs. 1-6.
29. 1956: (小島郁生と共著) 北海道空知郡幾春別川流域白亜系より久保輝保氏の採集した化石. 自然科学と博物館, 23, 108-112, pls. 1-2.
(With Ikuwo OBATA) On Some Cretaceous Fossils Collected by Mr. T. KUBO along the River Ikushunbetsu, Hokkaido. *Earth Sci. and Mus.*, 23, 108-112, pls. 1-2.
30. 1957: 白亜系討論会. 地質学雑誌, 63, 258-260.
The Symposium on the Cretaceous System. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 63, 258-260.
31. 1957: メキシコ東北部の中生界地域の巡検旅行 (C-5). 同上, 63, 367-371.
Geological Excursion of the Mesozoic Area in Northeastern Mexico (C-5). *Ibid.*, 63, 367-371.
32. 1958: 筑紫山地変成岩地域の地質. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 141-161.
Geology of the Metamorphic Rocks in the Chikushi Mountain District. Jubilee Publ.

- in the Commemoration of Prof. Jun SUZUKI, M. J. A., Sixtieth Birthday, 141-161.
33. 1958: F. M. ANDERSON により記載された北米西岸上部白亜系産アンモナイトに対する批判. 地質学雑誌, 64, 650-653.
A Review on F. M. ANDERSON's Upper Cretaceous Ammonites of the West Coast of North America. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 64, 650-653.
34. 1959: 国際対比よりみた白亜系境界問題. 有孔虫, 10, 1-17.
Cretaceous-Tertiary Boundary Problems from the Standpoint of International Correlation. *Foraminifera*, 10, 1-17.
35. 1960: 米国湾岸地域白亜系アンモナイトのタイプ標本. 九州大学理学部研究報告, 地質, 5, 36-49.
*On Some Type Ammonites from the Gulf Coast Cretaceous. *Sci. Rep., Dept. Geol. Kyushu Univ.*, 5, 36-49.
36. 1961: 九州大学に海外から寄贈の白亜紀化石標本. 槇山次郎教授記念論文集, 213-223.
*Cretaceous Specimens Donated to Kyushu University from Abroad. Prof. Jiro MAKIYAMA Memorial Volume, 213-223.
37. 1962: 地質系統と地質年代. 科学, 32, 20-28.
Geologic System and Geologic Age. *Kagaku*, 32, 20-28.
38. 1962: (植田芳郎, 赤津健と共著) 北海道築別地域の白亜系. 九州大学理学部研究報告, 地質, 6, 15-32.
*(With Yoshiro UEDA and Ken AKATSU) The Cretaceous Deposits in the Chikubetsu Area, Hokkaido. *Sci. Rep., Dept. Geol. Kyushu Univ.*, 6, 15-32.
39. 1962: (小島郁生と共著) *Baculites* facies について. 化石, 3, 57-63.
(With Ikuwo OBATA) On the *Baculites* Facies. *Fossils*, 3, 57-63.
40. 1964: 地相斜火成活動の時期について. 九州大学理学部研究報告, 地質, 7, 149-159.
*On the Age of the Geosynclinal Volcanism. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 7, 149-159.
41. 1964: 白亜紀アンモナイトにみる進化と個体発生. 化石, 8, 67-76.
Ontogeny and Evolution in Some Cretaceous Ammonites. *Fossils*, 8, 67-76.
42. 1964: (勘米良亀齡と共著) 5万分の1地質図幅「日奈久」および説明書. 地質調査所, 1-147, 英文摘要1-27.
*(With Kametoshi KANMERA) Explanatory Text of the Geological Map of Japan, Hinagu Sheet, Scale 1: 50,000. *Geol. Surv. Japan*, 1-147, English Summary, 1-27.
43. 1965: 白亜紀頭足類フォナーの変遷. 化石, 9, 24-29.
Faunal Changes in Cretaceous Cephalopods. *Fossils*, 9, 24-29.
44. 1965: 国際古生物学連合会議出席報告. 同上, 9, 63-64.
Report on the International Palaeontological Union. *Ibid.*, 9, 63-64.
45. 1965: (小林貞一, 兵田隆士, 鎮西清高と共著) 第22回万国地質学会議層位学委員会の報告. 地学雑誌, 74, 255-263.
(With Teiichi KOBAYASHI, Takashi HAMADA and Kiyotaka CHINZEI) Report on Commission on Stratigraphy of the 22th International Geological Congress. *Jour. Geogr.*, 74, 255-263.
46. 1965: 再び地質系統と地質年代について. 科学, 35, 454-460.
Further Note on the Geologic System and Geologic Age. *Kagaku*, 35, 454-460.
47. 1966: (速水格, 橋本亘と共著) 台湾西部の試掘井から産した白亜紀軟体動物化石(概報). 化石, 11, 54-56.
(With Itaru HAYAMI and Wataru HASHIMOTO) Cretaceous Molluscan Fossils from the Test Wells of Western Taiwan (Summary). *Fossils*, 11, 54-56.
48. 1967: 白亜紀海侵の本質について. 佐々保雄教授還暦記念論文集, 39-55.
*On the Nature of the Cretaceous Transgression. Jubilee Publ. in the Commemoration of Prof. Tamowo SASA, Sixtieth Birthday, 39-55.
49. 1967: 先カンブリア紀の地質年代区分. 科学, 37, 589-597.
Geochronologic Division of the Precambrian.

- Kagaku*, 37, 589-597.
50. 1967: 国際地質学連合地質年代学委員会について. 地学雑誌, 76, 322-328.
*On the IUGS Commission on Geochronology. *Jour. Geogr.*, 76, 322-328.
51. 1968: 地質年代学に関する標準試料. 科学, 38, 337-338.
Standard Datum on Geochronology-Isotopic Ratios of Pb, Sr, U-Pb, K-Ar, Rb-Sr. *Kagaku*, 38, 337-338.
52. 1968: 地角斜堆積物の総合的研究序論. 地質学論集, 1-3.
*Introduction. In A Systematic Study of Geosynclinal Sediments. *Mem. Geol. Soc. Japan*, (1), 1-3.
53. 1969: 九州大学に海外から最近寄贈された白亜紀化石標本. 九州大学理学部研究報告, 9, 167-173.
*Cretaceous Specimens Recently Donated to Kyushu University from Abroad. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 9, 167-173.
54. 1969: (松石秀之と共著) 北部有明海東部の海底沖積層. 同上, 9, 187-198.
*(With Hideyuki MATSUISHI) Alluvium Sediments in the Eastern Part of North Ariake Bay (Alluvium sediments of Ariake Bay-Part I). *Ibid.*, 9, 187-198.
55. 1969: (岡田博有と共著) エゾ地角斜白亜系の一部に認められる堆積サイクル. 地質学雑誌, 7, 311-328.
*(With Hakuyu OKADA) Cyclic Sedimentation in a Part of the Cretaceous Sequence of the Yezo Geosyncline. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 75, 311-328.
56. 1969: 環太平洋地域の白亜紀アンモナイトの研究. 学術月報, 22, 351-361.
Studies on the Cretaceous Ammonites in the Circum-Pacific Region. *Monthly Report of Science Council of Japan*, 22, 351-361.
57. 1969: 対馬の地質とその問題点. 国立科学博物館専報, 2, 5-18.
*Geology of Tsushima and Relevant Problems. *Mem. Nat. Sci. Mus.*, (2), 5-18.
58. 1969: (大塚裕之と共著) 鹿児島県文化センターに寄贈された小川勇吉氏収集のアンモナイト.
九州大学理学部研究報告, 地質, 10, 51-65, pls. 7-15.
*(With Hiroyuki OTSUKA) Ammonite Collections Donated by Yukichi OGAWA to the Museum, Bureau of Cultural Center, Kagoshima. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 10, 51-65, pls. 7-15.
59. 1969: (松石秀之と共著) 南部有明海海底沖積層. 同上, 10, 91-121.
*(With Hideyuki MATSUISHI) Alluvium Sediments of South Ariake Bay (Alluvium Sediments of Ariake Bay-Part II). *Ibid.*, 10, 91-121.
60. 1970: (平田茂留と共著) 九州鞍岡地域産のジュラ紀型アンモナイト. 地質学雑誌, 76, 223-224.
(With Motome HIRATA) Probably Jurassic Ammonite from the Kuraoka Area, Kyushu. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 76, 223-224.
61. 1970: 中生界の地質年代. 科学, 40, 248-255.
Geologic Age of Mesozoic System. *Kagaku*, 40, 248-255.
62. 1971: 地角斜堆積物の研究 総論. 地質学論集, 6, 1-7.
*Studies of Geosynclinal Deposits.-Introduction. *Mem. Geol. Soc. Japan*, (6), 1-7.
63. 1971: 地角斜堆積物について. 日本鉱山地質学会特別号, 4, 95-99.
*Notes on Geosynclinal Deposits. *Special Paper of the Mining Geol. Soc. Japan*, 4, 95-99.
64. 1971: (小原浄之介と共著) 北海道宗谷地域における白亜系と第三系との関係. 九州大学理学部研究報告, 地質学, 11, 17-34.
*(With Jyonosuke OHARA) Relations of Cretaceous and Tertiary Strata in the Soya Area, Hokkaido. *Sci. Rep., Dept., Geol. Kyushu Univ.*, 11, 17-34.
65. 1971: 太平洋学術協会第2回中間会議の報告. 地学雑誌, 82, 274-278.
Report on the 2nd Inter-Congress of the Pacific of Science Association. *Jour. Geogr.*, 82, 274-278.
66. 1973: 道後姫塚化石について付言. 地質学雑誌, 79, 496.
Further Notes on the Dogo-Himezuka fauna.

- Jour. Geol. Soc. Japan*, 79, 496.
67. 1973: (大塚裕之, 大木公彦と共著) 鹿児島下の四万十帯から産した白亜紀化石. 同上, 79, 703-704.
(With Hiroyuki OTSUKA and Kimihiko ÔKI) Cretaceous Fossils from the Shimanto Belt of Kagoshima Prefecture. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 79, 703-704.
68. 1973: (岡田博有と共著) エゾ地向斜の佐久層について. 九州大学理学部研究報告, 地質, 11, 275-309.
*(With Hakuyu OKADA) Saku Formation of the Yezo Geosyncline. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 11, 275-309.
69. 1973: 九州における中央構造線の問題. 杉山隆二編: 中央構造線, 209-220, 東海大学出版会.
*Problem of the Median Tectonic Line in Kyushu. In Riuji SUGIYAMA (ed.) *Median Tectonic Line*. 209-220, Tokai University Press.
70. 1975: 環太平洋の地史からみた日本の中生代. 地質学雑誌, 81, 461-471.
*Geologic History of the Circum-Pacific region—with Special Reference to the Mesozoic and pre-Mesozoic History of Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, 81, 792-794.
71. 1975: “白亜紀中期” 第1回国際研究集会出席報告. 同上, 81, 792-794.
Report on the 1st International Conference, “Mid-Cretaceous Events”. *Ibid.*, 81, 792-794.
72. 1976: (棚部一成と共著) オウムガイの殻の成長と機能について. ターボ機械, 4, 1-4.
(With Kazushige TANABE) On the Growth and Function of Shells in *Nautilus*. *Turbo Machine*, 4, 1-4.
73. 1976: 第13回太平洋学術会議の報告. 地学雑誌, 85, (5), 280-288.
Report on the 13th Pacific Science Council. *Jour. Geogr.*, 85, (5), 280-288.
74. 1976: 南西諸島と西南日本の地質学的関係. 琉球列島の地質学的研究, 1, 1-8.
*Geological Relationships of Nansei Islands and Southwest Japan. *Geological Studies of the Ryukyu Islands*, 1, 1-8.
75. 1977: (棚部一成, 平野弘道, 宮田雄一郎と共著) 北海道小平地域の上白亜系層序. 九州大学理学部研究報告, 地質, 12, (3), 181-202.
*(With Kazushige TANABE, Hiromichi HIRANO and Yuichiro MIYATA) Stratigraphy of the Upper Cretaceous Deposits in the Obira Area, Northwestern Hokkaido. *Sci. Rep., Dept. Geol., Kyushu Univ.*, 12, (3), 181-202.
76. 1977: (小島都生と共著) 本邦下部白亜系の対比. 同上, 12, (3), 165-179.
*(With Ikuwo OBATA) Correlation of the Lower Cretaceous in Japan. *Ibid.*, 12, (3), 165-179.

C. 著書 (欧文) (Books written in English)

1. The Cretaceous System in the Japanese Islands (Ed.). *Japan Soc. Prom. Sci.*, Tokyo, 1954.
2. Geology of Japan (Ed. with Fuyuji TAKAI and Ryuzo TORIYAMA). *Univ. of Tokyo Press*, Tokyo, 1963.
3. A Survey of Fossils from Japan Illustrated in Classical Monographs. (Primarily A Nomenclatorial Revision) (Ed.). *Palaeont. Soc. Japan*, Tokyo, 1963.
4. Age and Nature of the Circum-Pacific Orogenesis (Ed.). *Elsevier*, Amsterdam, 1967.
5. Litho- and Bio-facies of Carbonate Sedimentary Rocks (Ed.). *Palaeont. Soc. Japan, Spec. Papers*, 14, Tokyo, 1969.
6. Atlas of Paleobiogeography. (Ed. by A. HALLAM): Late Cretaceous Ammonoidea. Elsevier, Amsterdam, 1973.
7. Mesozoic-Cenozoic Orogenic Belts (Ed. by A. M. SPENCER): Japan (general); Southwest Japan (With Toshio KIMURA). *Geol. Soc. London*, 1974.
8. Encyclopaedia Britannica (Revised Ed. by W. E. PRECE): Cretaceous Period. *Encyclopaedia Britannica*, Chicago, 1974.
9. Mesozoic geology of the Far East-Japan and adjoining areas. —In A. E. M. NAIRN, R. G. DOUGLAS and M. MOULLADE: *Phanerozoic Geology of the World*. I. Mesozoic

(submitted 1976, in press)

D. 著書 (和文) (Books written in Japanese)

1. 南洋の地質 (大村一蔵編): 第三編 マライ半島および東印度諸島の地質学的研究の現状 (抄訳). 古今書院, 東京, 1944.
Introduction to the Geologic Works of Malay Peninsula and East Indian Islands (summarized translation). In ICHIZO OMURA (ed.) *Geology of Southern Pacific Ocean*. Kokin-shoin Book Co., Tokyo, 1944.
2. 日本地史学の課題. 平凡社, 東京, 1949.
Some Problems in the Japanese Historical Geology. Heibonsha Book Co., Tokyo, 1949.
3. 地史学, 下巻 (初版) (小林貞一編): シュラ紀, 白亜紀. 朝倉書店, 東京, 1953.
Jurassic and Cretaceous Periods. In Teiichi KOBAYASHI (ed.) *Historical Geology*, Part 2 (1st edition). Asakura Book Co., Tokyo, 1953.
4. 古生物学, 上巻 (初版) (小林貞一編) 頭足綱, 菊石目. 朝倉書店, 東京, 1954.
Order Ammonoidea (Class Cephalopoda). In Teiichi KOBAYASHI (ed.) *Palaeontology*, Part 2 (1st edition). Asakura Book Co., Tokyo, 1954.
5. 生命の歴史 (坂本峻雄編): 地史と生物の進化. 岩波書店, 東京, 1961.
Historical Geology and Evolution of Organisms. In Toshio SAKAMOTO (ed.) *History of Life*. Iwanami Book Co., Tokyo, 1961.
6. 日本地方地質誌九州地方 (野田光雄, 宮久三千和と共著), 朝倉書店, 東京, 1962.
(With Mitsuo NODA and Michitoshi MIYAHISA) *Regional Geology of Japan. -Kyushu Region*. Asakura Book Co., Tokyo, 1962.
7. 地史学, 上巻・下巻 (改訂新版) (編著), 朝倉書店, 東京, 1967.
Historical Geology, Parts 1-2 (revised new edition) (editor and contributor). Asakura Book Co., Tokyo, 1967.
8. 地向斜堆積物の総合的研究 (編著). 日本地質学会, 東京, 1968.
Synthetic Studies of Geosynclinal Deposits (editor and contributor). Geol. Soc. Japan, Tokyo, 1968.
9. 地向斜堆積物の研究 (勘米良亀齡と共編). 日本地質学会, 東京, 1971.
Studies of Geosynclinal Deposits (edited with Kametoshi KANMERA). Geol. Soc. Japan, Tokyo, 1971.
10. 古生物学, II (改訂新版) (編著). 朝倉書店, 東京, 1974.
Palaeontology, Vol. II (revised new edition) (editor and contributor). Asakura Book Co., Tokyo, 1974.
11. 先カンブリア紀. ブリタニカ国際大百科事典, 11, 490-494, 1974.
Precambrian Era. In: *Britanica International Encyclopedia*, 11, 490-494, 1974.
12. 地史. ブリタニカ国際大百科事典, 12, 676-662, (1974).
Geohistory. In: *Britanica International Encyclopedia*, 12, 676-682, 1974.
13. 白亜紀. ブリタニカ国際大百科事典, 16, 144-151, 1974.
Cretaceous Period. In: *Britanica International Encyclopedia*, 16, 144-151, 1974.
14. 陸の古生態, 日本地質学会・日本古生物学会共編, あいさつ, 5-6, 共立出版, 1976.
Preface. In: *Land Palaeoecology* (edited by the Geol. Soc. Japan and the Palaeont. Soc. Japan). 5-6, Kyoritsu Shuppan Co., Tokyo, (1976).
15. (野田雅之と共著). 日本の中生代貝化石 4. <イノセラムス>, 日本化石集45, 築地書館, (1976).
(With Masayuki NODA) Mesozoic Mollusca from Japan, 4 (*Inoceramus*), *Atlas of Japanese Fossils* 45, Tsukiji Shokan Book Co., Tokyo, 1976.

E. 編集に寄与したもの (Books to which Prof. MATSUMOTO contributed in editing)

1. *Catalogue of Type-specimens of Fossils in Japan*. (compiled by HANZAWA, S., ASANO, K. and TAKAI, F.) Palaeont. Soc. Japan, 25th Anniv. Vol., 1961.
2. 地層名辞典. 日本新生界の部, 日本地質学会, 1965.

Lexicon of Stratigraphic Names of Japan.
— *Cenozoic Erathem* 5 vols, Geol. Soc.
Japan, (1965).

3. *Mid-Cretaceous Events*—*Hokkaido Symposium, 1976*. Palaeont. Soc. Japan, Special Papers, 21 (in press 1977).

F. 編集したもの (一部C・Dにも記載)

[Publications edited by Prof. T. MATSUMOTO (some described also in C, D)]

1. *A Survey of the Fossils from Japan Illustrated in Classical Monographs (Primarily a nomenclatorial revision)*. Palaeont. Soc. Japan, 25th Anniv. Vol., 1963.
2. *Palaeontological Society of Japan, Special Papers*, No. 10: TANAI, T. and SUZUKI, N.: Late Tertiary Floras from Northeastern Hokkaido, Japan, 1965.
3. *Ibid.*, No. 11: NISUYAMA, S.: The Echinoid Fauna from Japan and Adjacent Regions. Part I, 1966.
4. *Ibid.*, No. 12: SHIKAMA, T.: Postcranial Skeletons of Japanese Desmostylia, 1966.
5. *Ibid.*, No. 13: NISUYAMA, S.: The Echinoid Fauna from Japan and Adjacent Regions. Part II, 1968.
6. *Ibid.*, No. 14: Litho- and bio-facies of Carbonate Sedimentary Rocks. —A Symposium—, 1966.
7. *Ibid.*, No. 15: HAMADA, T.: Early Devonian Fauna from the Lesser Khingan District of Northern China, 1971.
8. *Ibid.*, No. 16: KANNO, S.: Tertiary Molluscan Fauna from the Yakataga District and Adjacent Areas of Southern Alaska, 1971.
9. *Ibid.*, No. 17: OYAMA, K.: Revision of Matajiri YOKOYAMA's Type Mollusca from the Tertiary and Quaternary of the Kanto Area, 1973.
10. *Age and Nature of the Circum-Pacific Orogenesis*, Tectonophysics, 4, (4-6), 623p., Elsevier Amsterdam, 1967.
11. 地角斜堆積物の総合的研究. 地質学論集第1号, 81p., 日本地質学会, 東京, 1968.
Synthetic Studies of Geosynclinal Deposits. Mem. Geol. Soc. Japan, 1, 81p., Geol. Soc. Japan, Tokyo, 1968.
12. (勘米良亀齡と共編) 地角斜堆積物の研究, 地質学論集第6号, 204p., 日本地質学会, 東京, 1971.
(Edited with Kametoshi KANMERA) *Studies of Geosynclinal Deposits*. Mem. Geol. Soc. Japan, 6, 204p., Geol. Soc. Japan, Tokyo, 1971.
13. 古生物学, II (改訂新版), 441p., 朝倉書店, 1974.
Palaeontology, Vol. II (revised new edition). 441p., Asakura Book Co., Tokyo, 1974.
14. 日本化石集 (第3期), 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 48, 築地書館, 東京, 1975-76. (以下続刊58迄)
Atlas of Japanese Fossils (the 3rd Series), 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 48. Tsukiji-shokan Book Co., Tokyo, 1976-1975 (to be continued up to 58).

P.S. 追記

- A. 110. 1977: Notes on *Inoceramus*, Mesozoic bivalves from the southeastern Atlantic DSDP Sites 361 and 364, Leg. 40. DSDP Initial Reports, 40 (in press).
- B. 77. 1977: (柴田賢と共著), 顯生時代の年代尺度, 科学, 47, (印刷中).
(With Ken SHIBATA) On the Phanerozoic Time-scale. *Kagaku*, 47 (in press).